

## 環境科学分科会（第25期・第10回・議事要旨）

■日時：令和5年9月19日（火）11:00～12:30

■会場：日本学術会議＋ハイブリッド開催

■出席者：（敬称略）

北川、大政、桑野（オンライン）、小崎、後藤（オンライン）、恒川、野田、藤岡沙都子、真木、宮崎（オンライン）、山本（オンライン）、吉田、和田（オンライン）、藤岡恵子

■欠席者：（敬称略）

大河内、所、阿尻、谷、辻、花木、平尾、安田

■配布資料：

資料1 第9回分科会議事要旨

資料2：第8回分科会議事メモ

資料3：都市（コンパクトシティ・都市農業）WG報告

資料4：エネルギーWG生産技術・社会WG報告

■議題：

### （1）前回議事要旨確認

委員長より、資料1について説明があり、これを承認した。

### （2）意思の表出について

委員長より、意思の表出「報告」についてその後の経緯について報告があった。前回の触媒化学・化学工学分科会との合同会議で、意思の表出「報告」案を確認し提出することになっていた。しかし、触媒化学・化学工学分科会の親委員会である材料工学委員会の理解を得るに至らず、「記録」として提出することになった。

### （3）WGからの報告と次期への引き継ぎ

各グループの今期の活動について報告がなされた。

○都市（コンパクトシティ・都市農業）WG

資料3にもとづき、世話人の山本委員より報告がなされた。WGでは計10回の研究会が行われた。前半6回は以下の話題提供であった（各回の内容、論点、議論については資料参照）。

第1回（2021年7月1日）谷委員「都市農業と営農型太陽光発電」

第2回（2021年9月15日）花木委員「リアル and/or バーチャルコンパクトシティ」

第3回（2021年11月15日）大政委員「都市と農村における農業を取り巻く環境とその持続的発展のための食農社会システムを考える」

第4回（2022年1月26日）吉田委員「生態系・生物多様性の多様な機能とEco-DRR・グリーンインフラ」

第5回（2022年3月15日）真木委員「気象改良：南極・砂漠・人工降雨・口蹄疫などの話し」

第6回（2022年5月27日）山本委員「環境科学分野における空間解析の研究成果」

第7回目以降はグループ内の議論のまとめについて検討した。まず、まとめの構成について検討し、1. 自然環境、2. 土地利用・空間利用、3. 農業、4. 情報通信技術の発展の影響、とした。続いて、まとめ方として「土地（場所）」に着目することとし、1. 国土全般、2. 都市地域、3. 農業地域、とした。色々な意見が出たが、専門が多岐に及んでいたため、提言をまとめることには至らなかったとの説明があった。また、研究会は全て動画として記録しており、公開が可能であることも報告された。

○エネルギーWG、生産技術・社会（社会実装）WG

エネルギーWG（世話人、野田委員）と生産技術・社会（社会実装）WG（世話人、藤岡沙都子委員）はメンバーの重なりも多く、ほとんど一緒に活動をしてきたため、活動報告はまとめて資料4が提出され、野田委員から報告がなされた。主な活動は以下のとおり。

2021年7月21日 エネルギーWGと生産技術・社会（社会実装）WGで会合

2021年9月24日 化学工学会第52回秋季大会にて特別シンポジウム「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行-安全な水への化学工学の貢献-」（日本学術会議後援）開催

2022年7月30日 日本学術会議シンポジウム「みんなで考えるカーボンニュートラルと化学」開催

2022年8月11日 第19回アジア太平洋化学工学連合会議（APCChE2022）においてSDGs特別シンポジウム開催

2022年9月16日 化学工学会第53回秋季大会にて特別シンポジウム「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行-小島嶼国の持続可能な発展への化学工学の貢献-」（日本学術会議後援）開催

2023年3月17日 化学工学会第88年回において特別シンポジウム「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行-ありたい未来社会のための化学工学-」（日本学術会議後援）開催

2023年9月8日 第20回アジア太平洋化学工学連合会議（APCChE2022）においてSDGs特別シンポジウム開催

これらのシンポジウムについては、動画を作成し、化学工学会のHPで紹介していることも報告された。

○生態学・生態系 WG

世話人の吉田委員より口頭で報告がなされた。

○物質循環（有機・無機）・土壌資源（土壌）WG

世話人の小崎委員より口頭で報告がなされた。

WG の活動内容の記録方法について、第 8 回分科会議事メモ（資料 2）にもある通り、今回の委員会で本期の各 WG での活動を報告し、それを議事要旨に記録することになっていたことを確認した。来期に向けての引き継ぎ事項として、記録の扱い、WG のサイズも含め活動のしかたを検討することが共有された。

#### （4）その他

委員長から今期に行われた学術会議の改革に関連する情報共有（意思の表出や分科会の在り方など）がなされた。

以上